

【農林水産物・食品の広報】

日本産青果物輸出促進プロモーション(ドバイ)

開催日：令和4年12月13日及び15日

場 所：TOMOレストラン及び在ドバイ日本国総領事館公邸

主催(共催)：日本青果物輸出促進協議会、在ドバイ日本国総領事館

協力/参加企業・自治体：ブランドおおいた輸出促進協議会(大分県庁、JAおおいた)、

JA広島果実連、静岡県温室農業協同組合クラウンメロン支所、

(株)秀果園、(株)SAMURAI SUMMIT、(株)ヒロファーム、TOMOレストラン、サミット・トレーディング、農林水産省

在ドバイ日本国総領事館

【概要】

- 日本青果物輸出促進協議会が、日本産青果物輸出促進におけるプロモーションを2回開催した。りんご、イチゴ、メロン、ぶどう等の約10種類以上の青果物や加工品の試食のみならず、日本食普及親善大使であるサミット・トレーディング 大久保史朗氏のスピーチに加え、日本食普及親善大使である和食レストランTOMO 高橋智寿シェフの寿司の提供や当地在住者の日本舞踊を披露し日本文化の紹介も行った。また、日UAE外交樹立50周年事業として認定し、ロゴマークの使用許可等による側面支援を行った。磯俣大使及び関口総領事も開会スピーチを行うとともに、生産者を激励した。
- 新型コロナウイルス後初の現地で対面でのPR活動及び商談会で、各生産者から当地参加者に産地や青果物について直接説明できたことで、日本産青果物の魅力を知ってもらう絶好の機会となった。
- 2日間のイベントで、計150人以上の外交団、レストランシェフ、小売店バイヤー、現地食品企業等が集まった。参加者からは、日本の果物は甘い、おいしい、味も香りも素晴らしいとコメントがあり、大変好評価であった。多くの商談も見受けられ、既に複数の当地和食レストランでは当青果物が活用されており、販路拡大の一助となった。
- 当地Kha | eej Times紙に「今後、日本産青果物の魅力を海外に発信し、輸出体制を整備していくことが重要」と報道された。また、イベントに招待したインフルエンサーはその様子をSNSに投稿し、イベント会場のみならずSNS上でも青果物の魅力もPRすることができた。

